

第5回 土橋自然観察教育林連絡協議会協議事項

開催日時：2014年3月19日（水）19：00～

開催場所：厚沢部町図書館視聴覚室

会 議 次 第

1. 開 会

2. 教育長挨拶

3. 協議事項

協議事項1 樹名板記載内容の最終確認

協議事項2 その他

4. 閉 会

えだ みず あお けいこうしょく
枝からしたたる水は青い蛍光色にそまる

アオダモ

モクセイ科トネリコ属

花 期：6月

原産地：-

用 途：バット、スキー

板、馬ぞりなど

Fraxinus lanuginosa

青櫨

- ・ 樹皮はやや青白っぽく、手ざわりはなめらか。
- ・ 葉は3～7枚の小葉からなる奇数羽状複葉。
- ・ 他のトネリコ属と異なり、白い花弁のある花をつける。

げんさん ち

こしょう

せいいく

原産地では湖沼のそばによく生育している

ルーベンストウヒ

マツ科トウヒ属

花 期：5～6月

原産地：ヨーロッパ、シベリア

用 途：建築材、器具

材など

Picea rubens

- ・ 松ぼっくり（球果）は、赤褐色に熟すとばらばらに崩れる。
- ・ 当時は若い枝を蜂蜜などと発酵させ、壊血病の薬にしていた。
- ・ 材はヒノキに似た香りで、赤っぽいので「レッドスプルース」とも。

は じゅ ひ ぜんたいてき くろ
クロマツより葉や樹皮など全体的に黒っぽい

ヨーロッパクロマツ

Pinus nigra

マツ科マツ属

花 期：5～6月

原産地：ヨーロッパ

用 途：建築材、器具
材など

- ・ 葉は針状で8～15cm、2本ひと束でつく。
- ・ 松ぼっくり（球果）は、黄褐色に熟すまで2年かかる。
- ・ 原産地では山地や海岸に生育する。

ざい あか
材がやや赤みがかかるので「レッド・パイン」とも

ヨーロッパアカマツ

Pinus sylvestris

マツ科マツ属

花 期：5～6月

原産地：ヨーロッパ、シベリア

用 途：建築材、器具

材など

- ・ 葉は針状で4～7cm、2本ひと束でつく。アカマツより短く、葉裏の白い気孔線がはっきりしている。
- ・ 松ぼっくり（球果）は、赤褐色に熟すまで3～5年かかる。

しめ ところ せいいく ね みず へい き
湿った所に生育し、根が水をかぶっても平気

ヤチダモ

モクセイ科トネリコ属

花 期：5月

原産地：-

用 途：家具材、床材、

Franxinus mandshurica

谷地櫛

バットなど

- ・ 葉は先7～11枚の小葉からなる、奇数羽状複葉。
- ・ 種子には翼があり、風にのって運ばれる（風散布）。
- ・ 幹の隙間に雪虫（トドノネオオワタムシ）が産卵のため飛来する。

こくない もっと あたた ちほう ぶんぷ

国内では最も暖かい地方に分布するモミ

モ

Abies firma

ミ

樅

マツ科モミ属

花 期：5月

原産地：-

用 途：家具材、器具材、

太鼓の胴など

- ・ 葉は先が2裂し、ウラジロモミと異なり裏に気孔線は目立たない。
- ・ 球果は10～15cmと大きく、灰褐色に熟すとばらばらになる。
- ・ ウラジロモミと異なり、冬芽にヤニはない。

みの

だいにん き

実るドングリはエゾリスやカケスに大人気！

ミズナラ

ブナ科コナラ属

花 期：5～6月

原産地：－

用 途：家具材、床材、

Quercus crispula

水槵

馬そりなど

- ・ 葉は大型で、大きなかぎ針のようなぎざぎざがある。
- ・ ドングリ（堅果）はコナラよりも大きい。
- ・ ミズナラの林にはマイタケが多く発生する。

えだ き みず じゅもく
枝を切ると水がしたたるほどみずみずしい樹木

ミズキ

ミズキ科ミズキ属

花 期：6～7月

原産地：-

用 途：器具材、街路

Cornus controversa

水木

樹、こけしなど

- ・ 葉の縁はなめらかで、葉脈は狭く、葉の形にそって先端までのびる。
- ・ 小枝は赤く、縁起が良いので正月の飾り（まゆ玉）に使用。
- ・ 大きな枝は一年に一度ずつ、幹に階段状に展開する。

おお は こ かお
大きな葉は子どもの顔をすっぽりおおうほど

ホオノキ

Magnolia obovata

朴の木

モクレン科モクレン属

花 期：6月

原産地：-

用 途：工芸品、下駄、

樹皮を薬用など

- ・ 樹皮は灰色でなめらか。
- ・ こぶし大の大きな白い花は、良い香りがする。
- ・ 大きな赤褐色の果実からは、熟すとさけて黒い種子が出る。

しんよう ぎんはいしょく じゅけい うつく

新葉は銀灰色、樹形も美しいシンボルツリー

プゲンストウヒ

Picea pungens

マツ科トウヒ属

花 期：5～6月

原産地：-

用 途：建築材、公園・

街路樹など

- ・ 葉はひらたく、青緑色。新葉は銀灰色。
- ・ 球果は黄褐色から、鮮やかな褐色に熟す
- ・ 寒さに強く、北海道では公園などによく植栽されている。

ヨーロッパでは「^{もり}森の^{はは}母」^{はは}ともよばれる

ブ

Fagus crenata

ナ

栴、櫨

ブナ科ブナ属

花 期：5月

原産地：-

用 途：家具材、床材、

細工、枕木など

- ・ 樹皮は灰白色でなめらか。
- ・ 葉は縁に波状のぎざぎざがあり、やや厚みがある。
- ・ 種子はソバの実に似た形で、ヒグマなど動物たちの食料に。

きょう せい じゅもく
ヒンドゥー教における聖なる樹木

ヒマラヤスギ

Cedrus deodara

マツ科ヒマラヤスギ属

花 期：10月

原産地：ヒマラヤ、カシミール

用 途：建築材、公園

木など

- ・ 葉は3cmほどで、緑白色。
- ・ 松ぼっくり（球果）は、1年をかけて暗褐色に熟す。
- ・ 耐久性がある材は、原産地では水上家屋の建築材として重宝。

あつ さ ぶちょう じ せいほくげん ひやまりんぎょう ささ き
厚沢部町が自生北限、檜山林業を支えてきた木

ヒノキアスナロ

ヒノキ科アスナロ属

花 期：5月

原産地：-

用 途：建築材、器具材

Thujopsis dolabrata var. *hondai* 檜翬檜 桶、土台など

- ・アスナロの変種で、両方「ヒバ」と称されている。
- ・葉の裏にある白い気孔線は W 字型に見える。
- ・球果は肉厚でバラの花のような形。ヒノキのものより大きい。

ほうりゅうじ こだい に ほんけんちく ささ じゅもく
法隆寺など古代より日本建築を支えてきた樹木

ヒノ
Chamaecyparis obtusa

キ
檜

ヒノキ科ヒノキ属

花 期：5月

原産地：-

用 途：建築材、器具材
など

- ・ 葉の裏にある白い気孔線はY字型にみえる。
- ・ ヒノキチオールという精油が有名だが、国産ヒノキには少ない。
- ・ 球果はサッカーボール状で、ヒノキアスナロのものより小さい。

かわぎし しっち

いっぱんてき じゅもく

川岸や湿地でよくみられる一般的な樹木

ハンノキ

カバノキ科ハンノキ属

花 期：4月

原産地：-

用 途：ウクレレのヘッド、器具材など

Alnus japonica

榛の木

- ・ 早春、葉より先に開花する。黄色い花粉による花粉症に注意。
- ・ 冬芽はねばねばした樹脂におおわれ、寒さや乾燥をしのぐ。
- ・ 材には油分が多く含まれ、よく燃える。

きた か さい おお と ち てきおう
北アメリカの火災の多い土地に適応したマツ

バンクスマツ

Pinus banksiana

マツ科マツ属

花 期：5～6月

原産地：北アメリカ

用 途：公園・街路樹、

防風林など

- ・ 葉は2～4cm、2本ひと束になってつく。鋭くとがる。
- ・ 松ぼっくり（球果）は、枝やりん片同士の接着が強いが、約50℃の熱にさらされると樹脂の接着がはがれて開く。

アイヌの伝説では、人間の起源となった樹木

ハルニシ

ニレ科ニレ属

花 期：4～5月

原産地：-

用 途：家具材、床材

Ulmus davidiana

春榆

など

- ・ オヒョウよりも高度の低い、平野部に分布する。
- ・ ぎざぎざのある葉は倒卵形で先がとがる。表面はざらつく。
- ・ アイヌの伝説では、雷神がハルニシ姫の上に落ちて人間の祖先が誕生。

えだ わかぎ

枝や若木にトゲがあり、その材は「桐」に似る

ざい

きり

に

ハリギリ

ウコギ科ハリギリ属

花 期：7～8月

原産地：-

用 途：たんす、器具材

Kalopanax septemlobus

針桐

など

- ・ 葉は大形で5～9つにさける掌状。葉柄が長い。
- ・ いくつかの花が集まった球形の花序をつけ、黒い果実をつける。
- ・ 樹皮は厚くコルク質。当時「栓」として使用された事から「センノキ」とも。

いにゅうご や せい か しんりゃくてきがいらいしゅ もんだい
移入後野生化して侵略的外来種としての問題も

ハリエンジュ

Robinia pseudoacacia

針槐

マメ科ハリエンジュ属

花 期：6～7月

原産地：北アメリカ

用 途：公園、砂防用

別 名：ニセアカシア

- ・ 葉はだ円形の小葉7～19枚からなる、奇数羽状複葉。
- ・ 房状に咲く白い花は、蜜が豊富で昆虫が多く集まる。
- ・ イヌエンジュと異なり、枝や幹にとげがある。

ひ あ かわ ところ せいいく
日当たりのよいやや乾いた所に生育するヤナギ

バッコヤナギ

ヤナギ科ヤナギ属

花 期：4～5月

原産地：-

用 途：まな板、護岸用

Salix caprea

跋扈柳

など

- ・ 葉の裏側は粉をふいたような白色。白い縮毛が密に生える。
- ・ 枝を折るとみえる芯の部分（髓）は五角形。
- ・ ヤナギ科の中でもシダレヤナギと共に樹高が大きくなる種。

は あき こうよう ひっけん
うちわのような葉の秋の紅葉は必見！

ハウチワカエデ

カエデ科カエデ属

花 期：5月

原産地：-

用 途：器具材、楽器

Acer japonicum

羽団扇楓

材、スキーなど

- ・ 樹皮は若いうちはなめらかだが、老木になると縦にさける。
- ・ 葉は7～11 裂する掌状。若葉には長い白毛がある。
- ・ 種子には長い翼があり、プロペラのように風にはこばれる。

「クリスマスツリー」として一番人気の樹種

いちばんにんき じゅしゅ

ノルドマンモミ

マツ科モミ属

花 期： 月

原産地：－

用 途：庭園・公園木、

クリスマスツリーなど

Abies nordmanniana

- ・ 葉は針状で濃緑色、裏の 2 本の白い気孔線が目立つ。
- ・ 球果は 15 ～ 20 c m、暗緑色から赤褐色で上向きにつく。
- ・ 切りだしても葉が落ちにくいのでクリスマスツリーとして人気。

よる は と ようす
夜に葉を閉じる様子が「ねむ」っているよう

ネムノキ

Albizia julibrissin

合歡木

マメ科ネムノキ属

花 期：8月

原産地：-

用 途：庭園・公園木、
など

- ・ 葉は細長い小葉 36 ～ 58 枚からなる 2 回羽状複葉。
- ・ 花はほうきのような形で桃色。香りは桃のように甘い。
- ・ 平たい豆の形をした果実は約 10cmほどの大きさ。

は よ かお
葉をもむとレモンのような良い香りがする

ニオイヒバ

ヒノキ科クロベ属

花 期：5月

原産地：北アメリカ中北部

用 途：庭園・公園木、

Thuja occidentalis

匂檜葉

葉から精油など

- ・ 葉はヒノキ科の中では薄っぺらく、裏に白い気孔線はない。
- ・ 球果は 1 cm程度と小さく、長いだ円形。
- ・ 葉から抽出した精油には家ダニへの強い殺虫効果があるという。

あき とり この あか み こうよう うつく
秋は鳥が好む赤い実と、紅葉がとても美しい

ナナカマド

バラ科ナナカマド属

花 期：6月

原産地：-

用 途：農具の柄、

街路樹など

Sorbus commixta

七竈

- ・ 葉は小葉9～15枚からなる、奇数羽状複葉。
- ・ 和名は「七回かまどにくべても燃えない」からという説が一般的だが「七日間かまどで焼くと良い炭がとれる」からという説もある。

しめ せいいく せいちょう はや
湿ったところに生育する、成長の早いヤナギ

ドロノキ

Populus suaveolens

泥の木

ヤナギ科ハコヤナギ属

花 期：4～5月

原産地：-

用 途：マッチの柄、
パルプ材など

- ・ 葉は厚みがあり浅いぎざぎざがある。落葉がはやい。
- ・ 種子には綿毛がはえ、風で運ばれる（風散布）。
- ・ 寒さに強く、成長も早いので生産性の高い材として期待される。

エゾマツ・アカエゾマツと並^{なら}ぶ「北^{ほっかいどう}海^き道^きの木」

トドマツ

マツ科モミ属

花 期：5～6月

原産地：-

用 途：建築用材、集成材、内装など

Abies sachalinensis

榎松

- ・ 樹皮は地衣類が付着しているため灰白色。
- ・ 葉は平たく、先は2つにわれ、枝に直接らせん状につく。
- ・ 変種のアオトドマツとは、松ぼっくり（球果）に違いがある。

に おお か じつ しぶ つよ
クリに似た大きな果実は、渋みが強い

トチノキ

Aesculus turbinata

枋の木

トチノキ科トチノキ属

花 期：5～6月

原産地：-

用 途：器、民芸家具
など

- ・ 山地帯の沢地に多く分布する。
- ・ 葉は5～7枚の小葉からなる、大きな掌状複葉。
- ・ 蜜の多い白い花が複数、タワー状に直立して咲く。

ドイツのシュバルツバルト（^{くろ}黒い^{もり}森）^{けいせい}を形成する

ドイツトウヒ

マツ科トウヒ属

花 期：5月

原産地：ヨーロッパ

用 途：器具材、楽器

材など

Picea abies

- ・ 松ぼっくり（球果）は、トウヒ属の中で最も大きい。
- ・ 老木や木の下部につく枝は、重さで垂れ下る事が多い。
- ・ 原産地では樹高が70mになることも。

おお まつ なか しゅし
大きい松ぼっくりの中の種子もとても大きい！

チョウセンゴヨウ

マツ科マツ属

花 期：5～6月

原産地：－

用 途：公園樹など

Pinus koraiensis

朝鮮五葉

種子は食用にも

- ・ 葉は針状で6～12cm、5本ずつ束になってつく。
- ・ 種子の栄養価は高く、エゾリスなど野生動物の食料に。
- ・ 本州の山地に自然分布するが、北海道では植栽がほとんど。

こうざんたい お ね せいいく

高山帯の尾根に生育するカバノキ

ダケカンバ

Betula ermanii

岳樺

カバノキ科カバノキ属

花 期：5～6月

原産地：-

用 途：工芸品、家具

材、クラフトなど

- ・ 葉は三角形に近い形で、付け根は直線的～丸みをおびる。
- ・ 樹皮はシラカンバに比べて赤みがある。
- ・ 果実の穂（果穂）は、垂れ下るシラカンバに対して直立する。

ざい しろ こと

材が白い事から、「ホワイト・パイン」とも

ストロブマツ

Pinus strobus

マツ科マツ属

花 期：5～6月

原産地：北米、カナダ

用 途：船のマスト、

小物品など

- ・ 葉は青みがかった緑色で、5本ずつ束になってつく。
- ・ 松ぼっくり（球果）は細長く、白いヤニが多く、下にたれる。
- ・ 葉にはビタミンCが多く、ハーブティとして飲用される事も。

ぱらぱらとほぐれる、^{すず}鈴のような^み実をつける

スズカケノキ

スズカケノキ科スズカケノキ属

花 期：5～6月

原産地：ヨーロッパ南部～アジア西部

用 途：公園、街路樹

Platanus orientalis

鈴掛けの木

など

- ・ 樹皮がうろこ状に大きくはがれやすい。
- ・ 葉は5～7つにさける手の平状。ふぞろいなぎざぎざがある。
- ・ 鈴のような実は小さな種子が集まったもの（集合果）。

どうない

おしまなんぶ

そうりん

道内では渡島南部に造林されたものがほとんど

ス

Cryptomeria japonica

ギ

杉

スギ科スギ属

花 期：4～5月

原産地：-

用 途：建築材、器具

材、梱包材など

- ・ 葉は先がとがり、枝に直接らせん状につく。
- ・ 成長の良いスギの幹は、樹皮が交差した「網目」状になる。
- ・ 萌芽性が強く、枝がたれて地についた所から株ができる。

えだ かお じゅけい じゅもく
枝からユズの香りがする、樹形がきれいな樹木

シラビソ

Abies veitchii

白檜曾

マツ科モミ属

花 期：6月

原産地：-

用 途：建築材、器具
材、家具材など

- ・モミやウラジロモミよりも高山帯に分布する。
- ・樹皮は灰白色で、幹にはヤニの塊（ヤニ袋）が多くみられる。
- ・球果は4～6cm と小型、暗青紫色に熟すとばらばらになる。

しろ じゅ ひ

いれずみ

白い樹皮は、アイヌの刺青にもつかわれた

シラカンバ

カバノキ科カバノキ属

花 期：5月

原産地：-

用 途：床板、クラフ

Betula platyphylla

白樺

トなど

- ・ 葉は三角形に近い形で、付け根は直線的。
- ・ 花粉は風に乗って運ばれ（風媒花）、花粉症の原因にも。
- ・ 春頃とれる樹液を利用している地域もある。

じゅ ひ つよ せん い めの お
樹皮の強い繊維をつかい、アイヌは布を織った

シナノキ

Tilia japonica

科の木

アオイ科シナノキ属

花 期：6～7月

原產地：-

用 途：仏壇、神棚、

彫刻など

- ・ 葉は心形で縁にぎざぎざがあり、先はとがる。
- ・ 花はレモンの香りがし、良質の蜂蜜がとれる（蜜源植物）。
- ・ 果実はやや球形で、柄にはへら状の葉（包葉）がつく。

アイヌ語で果実も樹皮も「シウリ・ニ（^ご ^{かじつ} ^{じゅひ} ^{にが} ^き 苦い木）」

シウリザクラ

Prunus ssiori

朱里桜

バラ科サクラ属

花 期：5～6月

原産地：-

用 途：家具材、クラ

フトなど

- ・ 葉は長いだ円形で、先は長くとがる。葉の付け根は心形。
- ・ 蜜のでる突起（蜜腺）は葉柄の上部にある。
- ・ 花は動物の尾のような房状（総状花序）。

ざいしつ

材質が「さわらか（さっぱり^{かる}軽^{やわら}くて柔らかい）」

サ ワ ラ

ヒノキ科ヒノキ属

花 期：5月

原産地：-

用 途：建築材、器具

榿

材、公園樹など

Chamaecyparis pisifera

- ・ 小さな葉一枚一枚の先がとがっているのが特徴。葉の裏にある白い気孔線は×字型に見える。
- ・ 球果の中の種子には広い翼があり、風で遠くにとびやすい。

かた 堅いクルミでなく、よく 翼のあるかる 軽い種子をつける しゅ し

サワグルミ

クルミ科サワグルミ属

花 期：5～6月

原産地：－

用 途：下駄、浮き、マ

ッチ棒の柄など

Pterocarya rhoifolia

沢胡桃

- ・ 葉は小葉9～21枚からなる、奇数羽状複葉。
- ・ 花は雄花、雌花ともに穂状でたれさがる。
- ・ 種子は小さく2枚の翼があり、風や水流によって運ばれる。

さんち かわそ おお は ちい
山地の川沿いに多い、葉が小さいハンノキ

コバノヤマハンノキ

カバノキ科ハンノキ属

花 期：4月

原産地：-

用 途：器具材、砂防

用など

Alnus inokumae 小葉の山榛の木

- ・ 樹皮はやや黒っぽい。
- ・ 葉は他のハンノキ属より、ぎざぎざが鋭くよくとがっている。
- ・ 開花の時期が、他のハンノキ属よりより早い。

ほんしゅう さとやま おお みの じゅもく
本州では里山に多い、 Donggri を実らせる樹木

コ ナ ラ

ブナ科コナラ属

花 期：5～6月

原産地：-

用 途：家具材、フロー

Quercus serrata

小楮

リングなど

- ・ 葉はミズナラよりも小さく、縁にするといざざざがある。
- ・ 葉には葉柄があるが、ミズナラのものには葉柄がない。
- ・ Donggri（堅果）は細身で小さい。

は うら みつ け やまぎわ おお
葉の裏には密に毛があり、山際に多いハンノキ

ケヤマハンノキ

カバノキ科ハンノキ属

花 期：4月

原産地：-

用 途：ウクレシの

Alunus hirsuta

毛山榛の木

ヘッドなど

- ・ 葉は円形に近く、浅くさけた上に縁にはぎざぎざがある。
- ・ 冬芽はハンノキよりも丸くて大きく、毛が残る事もある。
- ・ ハンノキより乾燥した山側に生育する。

みき おうぎしょう ひろ じゅかん うつく
まっすぐのびる幹と扇状に広がる樹幹が美しい

ケ ヤ キ

Zelkova serrata

欒

ニレ科ケヤキ属

花 期：5月

原産地：-

用 途：家具材（タンス）、工芸品など

- ・ 本州では山中に群生するが、北海道では街路樹など植栽が主。
- ・ 樹皮は灰色、樹齢が高くなるとうろこ状にはがれるように。
- ・ 種子は小さく、いびつな球形。

じゅ ひ ほか くろ あっ さ ぶちよう き
樹皮が他のマツより黒い、「厚沢部町の木」

クロマツ

マツ科マツ属

花 期：5～6月

原産地：-

用 途：海岸砂防、公
園、街路樹など

Pinus thunbergii

黒松

- ・ 潮風や乾燥に強いいため海岸林に多い。道内は植栽がほとんど。
- ・ 葉は針状で6～12cm、2本ずつつく。
- ・ アカマツより葉が硬く樹形が雄々しいので雄松とも呼ばれる。

はな どくとく かお ほんしゅう つ ゆ ふうぶつ し
花の独特な香りは、本州では梅雨の風物詩

ク

Castanea crenata

リ

栗

ブナ科クリ属

花 期：7月

原産地：-

用 途：土台、家具材、

建築用材など

- ・ 樹皮は黒っぽく、縦にわれる。
- ・ 葉は長いだ円形で、葉脈の上に細かい毛が生える。
- ・ 冬芽には、「クリタマバチ」の赤い虫こぶが見られる事も。

「グイ」の由来はアイヌ語の「クイ（黒い木）」

グイマツ

マツ科カラマツ属

花 期：4～5月

原産地：-

用 途：器具材、

建築用材など

Larix gmelinii

色丹松

- ・ 北海道本島には自生しておらず、より北の気候に適する。
- ・ 寒さや雪に強い性質を活かしたカラマツとの交雑が盛ん。
- ・ 松ぼっくり（毬果）のりん片は反り返らない。

ゴヨウマツより^{さむ}寒さに^{つよ}強くなったマツ

キタゴヨウ

マツ科マツ属

花 期：5～6月

原産地：－

用 途：鋳物の型枠、

建築用材など

Pinus parviflora var. *pentaphylla* 北五葉

- ・ 葉は針状で3～8cm、5本ずつつく。ゴヨウマツより硬い。
- ・ 松ぼっくり（球果）中の種子には種子より長い翼がある。
- ・ 正月の盆栽マツとしてなじみが深い。

かしつ

果実はデコボコしてにぎり「こぶし」のよう

キタコブシ

モクレン科モクレン属

花 期：4～5月

原産地：-

用 途：工芸品など

Magnolia kobus var. *borealis* 北辛夷

- ・ 葉は倒卵形で、縁はなめらか（全縁）。
- ・ 開花時期は開葉よりも早く、白く香りのよい花をつける。
- ・ 冬芽は毛におおわれ、花芽は葉芽よりもふくらむ。

にほん じせいしゅ らくよう しんようじゅ
日本の自生種で落葉する針葉樹はカラマツだけ

カラマツ

マツ科カラマツ属

花 期：4～5月

原産地：-

用 途：建築用材、パ

レットなど

Larix kaempferi 落葉松、唐松

- ・ 寒冷地でも生育しやすいが、雪には弱い。
- ・ 雪に強いグイマツとの交雑が盛んにおこなわれている。
- ・ 松ぼっくり（毬果）のりん片の先はグイマツよりも反り返る。

おな ば しょ なんぼん ほう が たば
同じ場所から何本も萌芽し、束になってはえる

カツラ

カツラ科カツラ属

花 期：5月

原産地：-

用 途：器、まな板、

Cercidiphyllum japonicum 桂 碁盤、家具など

- ・ 葉はハート型（心形）でふちにはぎざぎざがある。対生。
- ・ 小さな種子には翼があり、風で散布される。寿命は3年以上。
- ・ 春～秋、晴れた日にはわたあめのような甘い香りがする。

おお かお は もち つつ
大きくてよい香りの葉は、かしわ餅の包みに

カ シ ワ

ブナ科コナラ属

花 期：5～6月

原産地：-

用 途：道具の柄など

Quercus dentata

柏

- ・ ドングリ（堅果）は曲がったとげのはえた殻につつまれる。
- ・ 葉が枯れた後も芽吹きのところまで枯葉は落ちずに残る。
- ・ 上記から、代が途絶えない「子孫繁栄」の縁起物とされる。

おな かたち は ひと

同じ形の葉が一つとしてない「異葉性」をもつ

い ようせい

オヒョウ

ニレ科ニレ属

花 期：4～5月

原産地：-

用 途：家具材、建築

Ulmus laciniata

於瓢

用材、床板など

- ・ 山地の中腹など、ハルニレより高度の高い場所に分布。
- ・ アイヌが樹皮で「オピウ」という布を織った事が和名の由来。
- ・ 小さな種子には翼があり、風によって散布される。

ほっかいどう しっ ち かわぎし おお せいいく
北海道では湿地や川岸に多く生育するヤナギ

オノエヤナギ

ヤナギ科ヤナギ属

花 期：5月

原産地：-

用 途：まな板など

Salix udensis

尾上柳

- ・ 葉は8～16cm と細長く、縁が裏側にまきこむ。
- ・ 枝を折ると見られる、枝の芯の部分（髓）の形はほぼ円形。
- ・ 冬芽にはやや毛が生えている。

かた から どうぶつ だいにん き
堅い殻をもつクルミは、リスなど動物に大人気

オニグルミ

クルミ科クルミ属

花 期：5～6月

原産地：-

用 途：家具材、器、

Juglans mandshurica

鬼胡桃

クラフトなど

- ・ 葉は9～21枚の小葉からなる、奇数羽状複葉。
- ・ 葉の落ちた跡（葉痕）は、ヒツジの顔のように見える。
- ・ クルミは1～3年ごとにたくさん実る。

にほん きたがわ さん ち せいいく おおがた
日本の北側の山地に生育する、大型のモミジ

オオモミジ

カエデ科カエデ属

花 期：5月

原産地：-

用 途：スキー、かんじ

き、馬そりなど

Acer amoenum

大紅葉

- ・ イロハモミジの変種であり、葉が大きい。
- ・ 葉の縁に細かいぎざぎざがあり、7～9つに深くさける。
- ・ 種子には翼があり、プロペラのように風によって飛んでいく。

ほっかいどう き

トドマツ・アカエゾマツと共に「北海道の木」

エゾマツ

マツ科トウヒ属

花 期：5～6月

原産地：－

用 途：建築用材、神

棚など

Picea jezoensis

蝦夷松

- ・ 樹皮はアカエゾマツより黒く、「クロエゾマツ」とも呼ばれる。
- ・ 裏側が白い葉は平たく、気孔線が2筋ある。
- ・ アカエゾマツに比べ芽が出るのが遅く、遅霜の影響を受ける。

ほっかいどう

北海道でよくみられる、てのひら^{がた}型の^は葉

エゾイタヤ

カエデ科カエデ属

花 期：5月

原産地：-

用 途：スキー、かんじ

Acer pictum

蝦夷板屋

き、馬そりなど

- ・ 樹皮は灰色がかり、樹齡が上がるにつれて縦に割れ目が入る。
- ・ 葉は縁にぎざぎざはなく、てのひら型。5～7つにさける。
- ・ その年に出た枝（一年枝）は紅紫色をおびる。

かじつ

果実をかじるとえぐみがあるため、「エゴノキ」

エゴノキ

エゴノキ科エゴノキ属

花 期：6～7月

原産地：-

用 途：庭園・公園樹

Styrax japonica

(齊墩果)

など

- ・ 漢名はあて字であり、本来はオリーブを意味する。
- ・ 房状につく下向きの白い花は、よい香りがする。
- ・ 有毒の「サポニン」を含む果実は洗濯や魚の捕獲に使われた。

は うら ほん しろ き こうせん
葉の裏にある、2本の白い気孔線がめだつ

ウラジロモミ

マツ科モミ属

花 期：5月

原産地：-

用 途：床板、家具材、

つき板など

Abies homolepis

裏白樅

- ・日本の特産種で、モミよりも寒冷地に分布する。
- ・球果は6～13cmとモミより小さく、熟すと黄褐色になる。
- ・モミと異なり。冬芽がヤニにつつまれる。

ざい も とも
材はよく燃えるため、「灯しカンバ」 とも

ウダイカンバ

カバノキ科カバノキ属

花 期：5月

原産地：-

用 途：床板、家具材、

つき板など

Betula maximowicziana 鶺松(明)樺

- ・ 葉は三角形に近い形で、つけ根の部分は心形。
- ・ 尾根上に生育するダケカンバよりも、斜面の下部に生育。
- ・ カンバ属では最も高齡（200 年以上）、最も大木になる。

アイヌ語では「^ごチクペニ」、^{ぼひょう}墓標に^{つか}使われた

イヌエンジュ

マメ科イヌエンジュ属

花 期：7～8月

原産地：-

用 途：床柱、工芸品、

家具材など

Maackia amurensis

犬 槐

- ・ 葉は7～13枚の先のややとがった小葉からなる羽状複葉。
- ・ 平たい豆のような果実がみのる。
- ・ 樹皮や枝の断面をかぐと、独特の臭気を感じる。

ちゅうせいだい せいいく いちぞくいっしゅ じゅもく
中生代から生育する、一属一種の樹木

イ チ ヨ ウ

イチョウ科イチョウ属

花 期：5月

原産地：中国

用 途：碁盤、将棋盤、

Ginkgo biloba

銀杏

そろばん珠など

- ・ 葉は扇型で、浅く 2 裂するがきれこみには変化がおおい。
- ・ 果実の「ギンナン」という呼び名は、中国語が由来。
- ・ 幹や枝から「乳根」という、垂れ下った突起物が出る場合も。

こ だ い に ほ ん こ う か ん い ち い し ゃ く ざ い り ょ う
古代日本で高官（一位）の笏の材料になった

イチイ

イチイ科イチイ属

花 期：4～5月

原産地：-

用 途：床柱、細工物、

Taxus cuspidate

一位

神主の道具など

- ・ 別名「オンコ」。由来は不明。
- ・ 甘く赤い果実は鳥やリスも好むが、黒い種子は人には毒。
- ・ 材の中心部（心材）は赤褐色で美しく、良材として扱われる。

あか み ちい とり にん き
赤い実はアズキのように小さく、鳥に人気！

アズキナシ

バラ科アズキナシ属

花 期：5～6月

原産地：-

用 途：工芸品など

Aria alnifolia

小豆梨

- ・ 葉のふちには重鋸歯があり、葉脈はせまく整列する。
- ・ 樹皮や枝などのダイヤ型の模様（皮目）が稗の目にみえることから、「ハカリノメ」とも呼ばれる。

は やわら じゅけい め まつ
葉が柔らかく樹形がやさしいため「雌松」とも

アカマツ

マツ科マツ属

花 期：5月

原産地：－

用 途：建築用材、鋳物

Pinus densiflora

赤松

の型枠など

- ・ 樹皮はうろこ状で、赤褐色。
- ・ 葉は針状で7～12cm、2本ひと束でつく。
- ・ 山地の峰など、乾燥地にもよく生育している。

きれこみのある^{いこくふう}異^は国風の葉は、^{こうよう}紅葉がきれい

アカナラ

ブナ科コナラ属

花 期：5月

原産地：北アメリカ

用 途：カンナ台、工具、

Quercus rubra

赤 檜

馬ぞりなど

- ・ 幹がまっすぐにのび、樹高 40m 以上になることも。
- ・ 葉はいびつに裂け、ヒイラギの葉を大きくしたような形。
- ・ ドングリ（堅果）は幅広で、ぼうし（殻斗）は平たい。

ほっかいどう き

トドマツ・エゾマツとならぶ「北海道の木」

アカエゾマツ

マツ科トウヒ属

花 期：5～6月

原産地：－

用 途：楽器材(ピアノ)、

Picea glehnii

赤蝦夷松

食器など

- ・ 樹皮はうろこ状で、エゾマツより赤みがかかる。
- ・ 葉の断面は四角形で、指でつまんでころころ転がせる。
- ・ エゾマツより芽が出るのが遅く、遅霜の影響を受けにくい。